

笑顔

令和7年9月29日(月)
板橋区立高島第六小学校
ことばの教室だより10月号
TEL・FAX03-5399-7407(直通)



朝晩も涼しくなり少しずつ秋らしくなってきました。秋は運動会を実施するという学校も多いかと思います。練習を通して、子どもたちにはさまざまな経験を積んで、たくさんのかことを学んでほしいと思います。

ことばの教室は、今月から後期に入ります。一人一人に寄り添いながら、それぞれの課題に向けた支援ができるよう、担任一同、気持ちを新たに指導に励んでまいります。また今月は、保護者会で、合理的配慮について体験を通して知っていただけるよう企画しております。たくさんのご参加をお待ちしております。

<10月の予定>

<u>1日(水)</u>	<u>都民の日</u>
7日(火)	志村第三小学校専門家相談(午前) 都難言協城北ブロック研究会(午後)
<u>13日(月)</u>	<u>スポーツの日</u>
14日(火)	志村第三小学校専門家相談(午前)、都難言協専門研究会(午後)
17日(金)	運動会前日準備(午後指導なし)
18日(土)	高島第六小学校運動会
<u>20日(月)</u>	<u>振替休業日</u>
21日(火)	高島第六小学校ことばの教室 保護者会 午前10時～
23日(木)	高島第六小学校専門家相談(午後指導なし)
28日(火)	入級判定会③(午前)
29日(水)	志村第三小学校専門家相談(午前)

<11月の予定>

<u>3日(月)</u>	<u>文化の日</u>
4日(火)	区言語相談員との情報交換会(午前) 都難言協城北ブロック研究会(午後)
11日(火)	高島第六小学校就学時健康診断(午後)
18日(火)	新1年生施設公開(午前)
<u>23日(日)</u>	<u>勤労感謝の日</u>
<u>24日(月)</u>	<u>振替休日</u>
25日(火)	通級指導学級研究会②(午後)

第2回 吃音グループ学習を実施しました



8月28日(木)に第2回吃音グループ学習を行いました。児童と保護者の6名の参加がありました。昨年度の卒業生とその保護者の方にゲストティーチャーとしてお越しいただき、児童・保護者それぞれでお話をしました。児童グループでは、一緒にペットボトルキャップで工作をしたり、「中学でどんな自己紹介をしたのか？」など、児童からの質問について話していただいたりしました。保護者グループでは、これまでの吃音との向き合い方、中学校への引継ぎ、中学校生活などについて話を伺うことができました。中学で部活動を頑張っている話などを聞くと、充実した中学校生活を送っていることを感じます。こうして、ことばの教室を卒業しても、自分なりに吃音と上手に付き合いながら頑張っている先輩がいるのは、頼もしいことです。また時々ことばの教室に成長した姿を見せにきてほしいです。

次回の吃音グループ学習は2月に予定しています。どうぞご参加ください。

♪ことばミニコラム♪ 「発達性読み書き障がい」

通級児童の中には全体的な発達の遅れはなく、生活面においても年齢相応の力があるにも関わらず「話す」「聞く」「読む」「書く」など、ことばの面でだけ大きな課題が見られる子どもがいます。今回は、こうした課題について考えてみたいと思います。

どんなことが苦手なの？

- ・音読で、すらすら読めない。
- ・平仮名や片仮名の読み書きが定着しない。特殊音節がなかなか身に付かない。
- ・漢字の宿題をきちんとやっているのに、テストの点が悪い。忘れるのが早い。
- ・普段の漢字テストでは点数は良いが、まとめのテストは点が取れない。
- ・板書を写すのが遅い。
- ・日記や作文では平仮名が多く、正しく書けない言葉が多い。

例) う行↔だ行(ください→くらさい、～です→～れす、ぶどう→ぶろう、など)

キ・チ・シの区別がつかない、助詞の誤りが多い など

1クラスに2～3人はいると言われていますが、学校では気づかれにくく、努力が足りないと思われて自己肯定感が下がってしまうこともあります。一斉指導と同じ方法で身に付かないときは、それぞれに合わせた学習方法を考えていかなくてはなりません。

しんどさに気づいたときから「合理的配慮」の支援がスタートします。いろいろな「合理的配慮」について、ぜひ保護者会で一緒に考えてみませんか。ご参加をお待ちしています。

こんな合理的配慮ができます！

☆「読み」の負担軽減には

- ・ルビ付き分かち書き教科書の使用
- ・音声教科書教材(教科書を読み上げてもらう)
- ・リーディングルーラー(行の読み飛ばし等を防ぐ定規を当てて読む)

☆「書く」の負担軽減には

- ・口頭作文(先生に書いてもらう)
- ・漢字テスト以外は平仮名で書いても丸にしてもらう